

## 重要取組シート

農業委員会事務局

取組項目		円滑・確実な委員会運営	
現状・課題		<p>農業委員会の活動は、市民の営農経済活動等に対し直接の影響があるため、法令に規定された事務について、遅滞なく確実に実施しなければならない。</p> <p>そのため、委員が参加しやすい総会運営、委員の実地活動における安全確保や効率性の向上を図る必要がある。</p>	
取組の内容		<p>Web 会議システムを利用した会議出席などにより、多様な委員が参加しやすい総会運営。</p> <p>また、委員の担当区域における農地の確認業務においても、現地調査時の安全確保や業務の効率化につながる ICT（衛星システム等を活用した農地状況の把握）の導入について、国が開発を進める農業委員会サポートシステムとの親和性も勘案しながら、検討をすすめる。</p>	
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 総会等の円滑な実施（毎月） <input type="checkbox"/> 農業委員会総会における Web 会議システムの活用（4月～） <input type="checkbox"/> ICT の導入事例調査（先進事例の調査等）（4～7月） <input type="checkbox"/> ICT の事例調査を踏まえ、導入の可否を検討・決定（8～10月）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> ICT を導入する場合は予算要求措置（10月） <input type="checkbox"/> 委員への事例研修等（随時）	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> R7年度の進捗状況を踏まえ、具体的な取組を実施・継続	
進捗の状況	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 総会等の円滑な実施（毎月） <input type="checkbox"/> 農業委員会総会における Web 会議システムの活用（4月～） <input type="checkbox"/> 農業委員会サポートシステムの研修に参加、サポートシステム運用について府農業会議と協議（8月）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 委員への事例研修等（随時） <input type="checkbox"/> 先進事例現地調査（1月）	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4 - (7) 次世代につなげる農業の促進	
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合 (概ね6か月以内) [現状値：42.8% (2019年度)]	目標値 (2025年度) 55.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 2	飢餓をゼロに
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合 (概ね6か月以内) [現状値：42.8% (2019年度)]	目標値 (2025年度) 55.0%